

はじめに

今年度も学校保健会の編集委員のご尽力により「いびの子のからだ」が編集刊行されました。社会環境や生活環境の変化が子供たちの心身の健康に大きな影響を与え、肥満、やせ、メンタルヘルスの問題、アレルギー疾患の増加など多岐にわたる健康課題が生じています。また3年以上にわたる新型コロナウイルス感染症に対する対応に学校は苦慮し、子供たちにも体力低下や不登校の増加など大きな影響がでていると言われてしています。

「いびの子のからだ」には揖斐郡内の小中学校男女別の疾病・異常被患者数の実数やその評価に加え、う歯罹患率、発育の状況、体力テストの結果と経年変化についてもデータ化されており、子供たちにどのような変化が起こってきているのか読み取ることができます。

この貴重なデータを分析し、課題を解決していくために、子供たちには自ら考える力をつけてもらい、自分だけでなく、友人・家族にも健康の維持増進に努めるよう働きかけることができるようになってもらいたいと思っております。そのためには学校・家庭・地域が以前にも増して連携をとり、子供たちに向き合っていかなければならないと考えます。

関係者の皆様、どうかこの貴重なデータを無駄にせず、有効に活動して頂きたいと切に願っております。

最後に、編集に携わって頂いた皆様には、深く御礼を申し上げ、「いびの子のからだ」発刊の挨拶とさせていただきます。

令和6年2月

揖斐郡学校保健会会長 野田 宜輝